

令和8年度入試 大学一般選抜入試学科試験「出題の意図」

科目	出題責任者	出題の意図
国語	小池先生	国語総合と現代文の各科目から出題している。問題文に使われる出典の分野はコミュニケーション論、社会評論、思想、経済史など多岐にわたり、読解力、文章の内容を叙述に即して表現する力、言語に関する知識を問うことを意図している。
外国語	堀口先生	例年通り、英文法、英語の語法と構文、英熟語、英作文、日常英会話やビジネス英会話、空欄補充、長文読解を出題した。出題された英文のトピックや内容は、ビジネス、異文化コミュニケーション、情報やIT分野、物語など多岐にわたっている。
数学	名古屋先生	数学Ⅰ、数学Ⅱ、および数学Aの各分野から出題し、経済学や経営学を学ぶために必要な基礎的な概念や計算方法の理解度、数学的な問題解決力を評価することを目的とする。
公民	青木先生	公共、政治・経済からなる公民について、主に「現代日本における政治・経済」と「グローバル化する国際社会」に有する諸課題に焦点を当て、文書からの読解力と図表等の資料からの洞察力を踏まえて、身につけておくべき知識とその知識を用いた思考力を問うことに意図がある。
地歴	宗村先生	科目「歴史総合」から、19世紀～20世紀史の日本史・世界史（アジア・アフリカ・ヨーロッパ）のグローバルな政治経済動向をどれだけ横断的に理解できているかを測る内容とした。各大陸の近代史・現代史のテーマ別大問のなかで、地図や年表、および日本史史料の内容読解力も試されている。